

夏原グラント



活動報告書

2021 年度



琵琶湖およびその流域の自然環境の保全活動を応援します

主催 公益財団法人  **平和堂財団**

協賛 株式会社 **平和堂**

ごあいさつ

公益財団法人平和堂財団は、教育・文化・体育・環境・児童福祉の5分野で助成活動を行っています。琵琶湖を抱える滋賀県に生まれた法人として環境分野には重点的に取り組んでおり、その中でも環境保全活動助成事業「夏原グラント」は、環境保全活動に対する中心となる助成事業で、2021年度で10年を迎えることができました。

この間、延 489 団体に助成を受けていただくことができました。これもひとえに夏原グラントの趣旨に賛同し、積極的なご応募をいただいた団体の皆さんのおかげです。

2021年度も、新型コロナウイルス感染症による影響は続き、前年中止を余儀なくされた贈呈式は規模を縮小して開催しました。助成を受けていただいている団体の皆さんの交流会も、6回予定していたうちの4回が緊急事態宣言の影響を考慮して、中止せざるを得なかったことも残念に

思っております。

コロナ禍の中で活動内容を変更されたり、休止を余儀なくされたりした団体も一部ありましたが、多くの団体が環境保全活動に熱心に取り組んでいただいたことに、改めて敬意を表します。

この度、2021年度の助成を受けていただいた団体からの活動報告をとりまとめた「平和堂財団環境保全活動助成事業 夏原グラント活動報告書」が完成しました。滋賀県・京都府内の環境に関する多様な活動について、本冊子で紹介しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

公益財団法人 平和堂財団
理事長 夏原美智子



目次

助成金の概要、選考基準、スケジュール	1P
選考委員、応募・採択事業数、説明会と事前相談会、公式サイト	2P
夏原グラントの特徴、市民環境講座	3P
2021年度助成事業紹介・団体一覧表	4～5P
事業報告 1年目 18団体	6～11P
事業報告 2年目 11団体	12～15P
コラム：ロゴマークとリンクバナーの紹介	15P
事業報告 3年目 12団体	16～18P
コラム：ステップアップ助成とは	18P
事業報告 ステップアップ 3団体	19P
表彰された団体の紹介、表紙・裏表紙の写真の説明	20P
コラム：夏原グラント10年を振り返って・団体交流会	21P

助成金の概要

●名称

平和堂財団環境保全活動助成事業 「夏原グラント」

※グラント「grant」＝助成金

●対象となる事業

この助成金の対象は、主に琵琶湖およびその流域の環境保全活動で、滋賀県内・京都府内で実施される河川や湖等の水質保全、森林・里山保全、水源の森保全、生物多様性維持等の事業です。生活に身近な課題の解決に資する事業や、環境活動を軸に地域でのしくみやつながりを生み出すことを目的とした事業についても対象となります。具体的には、次に示すような種類および形態の活動です。

●活動の種類

- (1) 河川・湖沼などの自然環境の保護・保全活動
- (2) 森林の育成保全により、森林の多面的な機能を発揮・維持するための活動や林産物の活用を創出する活動
- (3) 里地里山の生物多様性を保全・創出するための活動や森・里・川の繋がりを再生する活動
- (4) 絶滅危惧種・稀少種に指定されている野生動物植物の保護・保全や生物多様性維持の活動
- (5) 地球温暖化・廃棄物減量などの課題を生活の中から考え、解決に向かう糸口を見つける活動
- (6) 市民が主体となって企画し、継続して行っている緑化活動や清掃活動

●活動の形態

- (1) 実践活動
- (2) 教育啓発・人材育成活動
- (3) 調査研究活動（実践活動に結びつくものが対象で、学術的な研究活動は対象外）

●一般助成金の対象となる団体

事務所を滋賀県内・京都府内に有するか、滋賀県内・京都府内で環境保全活動に取り組んでいるNPO法人、市民活動団体または学生団体

●ファーストステップ助成金の対象となる団体

- (1) 立ち上げ支援
これを機に活動を始めようとする団体
- (2) 小規模事業の支援
今まで比較的小規模事業を継続してきた団体
※採択となった団体はファーストステップ助成終了後、夏原グラント一般助成への応募が要件

●助成金の額

- (1) 一般助成
 - ① NPO法人、市民活動団体
1件あたり上限 50万円
 - ② 学生団体
1件あたり上限 30万円
- (2) ファーストステップ助成
1件あたり上限 10万円



2021年度 募集要項

選考基準

- (1) 滋賀県内・京都府内の環境保全や地域創造に寄与すると認められること。
- (2) 他の団体のモデルとなるような先進的なテーマ設定や事業展開が期待されること。
- (3) 県民・府民の自主的な環境保全活動につながる波及効果が期待されるなど、成果が広く市民に還元されること。
- (4) 適切かつ効果的な事業手法がとられていること。

スケジュール

2020年	11月26日	説明会・事前相談会の開始
	12月1日	募集開始
2021年	2月1日	募集締め切り
	2月22日	1年目1次選考委員会
	3月6日	2年目選考委員会・プレゼンテーション
	3月14日	1年目2次選考委員会・プレゼンテーション
	4月18日	贈呈式
2021年4月1日～2022年3月31日まで 助成金事業実施期間		

選考委員

仁連 孝昭	滋賀県立大学 名誉教授	
西野 麻知子	元びわこ成蹊スポーツ大学 教授	
内田 香奈	きょうとNPOセンター 副統括責任者	
脇田 健一	龍谷大学 教授	
辻村 琴美	コミュニティ・アーキテクトネットワーク	理事長

(敬称略・順不同・2021年度選考当時)

応募・採択事業数

1年目事業応募数	35事業	うち採択 18事業
2・3年目事業応募数	21事業	うち採択 19事業
ステップアップ応募数(1・2年目)	6事業	うち採択 3事業
ファーストステップ応募数(1・2年目)	17事業	うち採択 17事業
助成総額		17,147,000円

説明会と事前相談会

「夏原グラント」への応募を考えている団体のみなさんを対象に、説明会と事前相談会を同日開催しました。説明会では応募に関する説明の後、質問にお答えし、終了後は個別の相談に対応しました。今年度は初めてオンラインでの相談も行いました。これらの相談には、夏原グラントの運営を担っているしがNPOセンターのスタッフがあたりました。

●開催日(すべて2020年)

11月26日(木)	草津市立まちづくりセンター	(草津市)
12月1日(火)	ひとまち交流館京都	(京都市)
12月5日(土)	南丹市国際交流会館	(南丹市)
12月6日(日)	アクティ近江八幡	(近江八幡市)
12月19日(土)	ハッシュタグ大津京	(大津市)
オンライン相談会(zoom利用)		
11月26日(木)、12月5日(土)、12月6日(日) ※いずれも複数回受付		

公式サイト

●夏原グラント公式サイト

<https://www.natsuhara-g.com/>

夏原グラントの概要や助成の実績など、詳しく掲載しています。

応募前や、事業実施中のQ&Aも掲載するなど、応募前から終了後までていねいに説明しています。募集要項、申請書類、採択後の活動で使用していただくロゴマークなどがダウンロードできます。

プロジェクト活動レポートのコーナーでは、事務局スタッフが活動の現場を取材し、豊富な写真とともに紹介しています。キーワード検索も可能です。

ぜひ、アクセスしてください。スマートフォンでもご覧いただけます。



夏原グラントの特徴

夏原グラントは、単なる助成金だけの支援ではありません。

(1) 学びの場の提供

毎年、市民環境講座を開催し、助成先の団体だけでなく環境保全に興味のある方にも参加していただいています。講師は夏原グラント選考委員で、内容は環境保全の基礎や最新の知識、組織運営に関するワークショップなどです。講座を受講することで活動や組織のブラッシュアップをしていただくのが目的です。

(2) 交流機会の提供

各団体が他の地域や違う分野の活動について情報交換を行う機会を提供することにより、ネットワークを広げていただけます。

(3) 事務局サポート

しがNPOセンターの強みを活かして、事業実施中の団体からのさまざまな相談を受け、アドバイスを行っています。また、現地を訪問し、取材して「活動レポート」をサイトに公開することで、事業や団体の情報発信を行っています。

市民環境講座

この講座は助成団体だけでなく、保全活動に取り組んでいる団体やこれから取り組んでいこうとする方を対象に、オープン開催としています。夏原グラント選考委員のお二人にお話をいただきました。

●第1回 6月26日(土) 「地球環境へのまなざしを持つ」

地域に根ざした環境保全活動」

講師：仁連孝昭さん（滋賀県立大学 名誉教授）

世界的に悪化している生物多様性と生態系サービス、部分ではなく全体システムを見ること、SDGsは持続可能な開発目標である、などのお話をされました。つい目の前の問題だけで考えがちですが、気候変動など地球規模での視野を持ちながら環境保全活動を行うことが重要だということを教えていただきました。



●第2回 7月18日(日) 「活動を元気に続けていくためのポイント」

講師：脇田健一さん（龍谷大学 教授）

脇田さんはご自身が関わっていた市民活動団体のことを紹介し、参加者自身が楽しく自発的に取り組めることが大事と説明。命令型の古いリーダーではなく、今の時代は人と人とをコーディネートする人が中心となる、と話されました。後半は参加者がグループに分かれ、自身の団体の問題やその解決策を考え発表して盛り上がりました。



2021 年度採択事業紹介

2021 年度に夏原グラントの一般助成とステップアップ助成を受けた団体の活動をご紹介します。「夏原グラントで実施した事業の紹介」「環境や地域への貢献」「助成金が活きたと思う点」の3つについてお聞きしています。

1 年目 18 事業、2 年目 11 事業、3 年目 8 事業、ステップアップ(1 年目と 2 年目)3 事業の計 40 事業を掲載しています。



2021 年度助成事業・団体一覧

1 年目 18 事業

※右端の「P」欄は掲載ページ

地域	事業名	団体名	P
滋賀	西の湖おはなしあそび 西の湖を感じる展覧会	西の湖あそび隊	6
滋賀	ニホンミツバチの蜜源の谷づくり事業	沖島里山保全の会	6
滋賀	琵琶湖水鳥観察会とむべなるかな里山探索会	チームむべなるかな	6
滋賀	大学生の熱意で琵琶湖や鴨川を侵略的外来生物から守ろう	特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会	7
滋賀	芦浦観音寺竹林整備プロジェクト	特定非営利活動法人 レイカディアえにしの会	7
滋賀	湖南市産バイオマス燃料製造プロジェクト	こにゃん木の駅プロジェクト準備委員会	7
滋賀	ミツバチ花いっぱいプロジェクト	オランダ堰堤および周辺の環境を守る会	8
滋賀	山を守る ごみ拾い調査とその解決法を探る	TANAKAMI こども環境クラブ	8
滋賀	下阪本クリーン作戦&シジミ放流	下阪本子どもコミュニティー	8
滋賀	比良山系の清掃登山(クリーンハイク)及び 飲み水水質調査と放射線測定	比良雪稜会	9
滋賀	くつきの森の炭窯を活用した炭焼き人材育成と 炭原木のドングリの森育成事業	特定非営利活動法人 コミュニティねっとわーく高島	9
京都	小さな谷の小さな暮らし —自然とつながり生きる力を育むワークショップ	志賀郷ゴキゲン化計画	9
京都	特定外来種のおオハンゴンソウ駆除で 美しい花背の自然と生態系を守る	特定非営利活動法人 自然観察指導員京都連絡会	10
京都	森のがっこう 2021	一般社団法人 森のようちえん だろんこ園	10
京都	水道直結型マイボトル専用仮設給水機の設置を通じた 河川ごみ減量啓発事業	特定非営利活動法人 地域環境デザイン研究所 ecotone	10
京都	小塩山カタクリ保護地への猪侵入防止対策	西山自然保護ネットワーク	11
京都	市民が楽しめる 豊かで元気な 森育て をすすめよう!	一般社団法人 宇治きこりの会	11
京都	里山整備からワサビ畑の復活をめざす	特定非営利活動法人 加茂女	11

2年目 11事業

地域	事業名	団体名	P
滋賀	八島ふれあいの森づくり（世代をつなぐ里山の保全管理活動）	八島里山づくり委員会	12
滋賀	横山森林公園の活性化	横山はらっぱ倶楽部	12
滋賀	みんなで創る走井（はしり）の里	明日の走井を考える会	12
滋賀	草津市志津南学区地区内調整池等の雑草地整備	志津南『芝桜プロジェクト』	13
滋賀	棚田・里山・古代米・鮎プロジェクト	棚田・里山・古代米・鮎プロジェクト	13
滋賀	大津市内小学校の緑化・美化活動	滋賀県レイカディア大学同窓会 大津支部	13
滋賀	京都・滋賀でのコミュニティファームの設立	美土里ファーム・ コミュニティファーム実行委員会	14
京都	道普請ツアーと東屋づくり	上宮津・杉山エコガイドの会	14
京都	希少種の保全 ヤマトサンショウウオの生息環境保全	特定非営利活動法人 亀岡人と自然のネットワーク	14
京都	子ども自然観察会	桂坂野鳥遊園子ども自然観察会	15
京都	広げよう！森林環境学習活動	フィールドソサイエティー	15

3年目 8事業

地域	事業名	団体名	P
滋賀	彼岸花の復活による堤防環境保全と地域づくり	徳山環境保全会	16
滋賀	八幡山城 豊臣秀次家臣団屋敷跡の竹林整備と 市民が親しめる環境づくり	一般社団法人 秀次家臣団屋敷跡竹林を守る会	16
滋賀	滝区ササユリの咲きほこる里づくり	滝区ササユリの里づくり委員会	16
滋賀	都市公園で育むナチュラル・ガーデンと ナチュラル・キンダーガーデン	ボランティアグループ：森の風音	17
滋賀	滋賀県のオオサンショウウオに関する調査・研究	滋賀のオオサンショウウオを守る会	17
京都	2021年度桑木クヌギ植え付け事業	特定非営利活動法人 京都桑田村	17
京都	中世木の里山・棚田を守るプロジェクト	中世木ビジョン委員会	18
京都	放置竹林整備事業	特定非営利活動法人 八幡たけくらぶ	18

ステップアップ1年目 2事業

地域	事業名	団体名	P
滋賀	緑の手入れを通じての“高齢者支援対策”と“空き家対策”	NPO 志津南環境美化ボランティアの会	19
京都	森のようちえんプレ事業	特定非営利活動法人 こそだてママ net	19

ステップアップ2年目 1事業

地域	事業名	団体名	P
滋賀	野性傷病鳥獣の救護追跡事業	放鳥's	19

西の湖おはなしあそび 西の湖を感じる展覧会 西の湖あそび隊

活動場所 滋賀県近江八幡市 西の湖周辺
所在地 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 1276-37
連絡先 asobitai.info@gmail.com
活動分野 ●子ども、●水・水辺、●参加募集



夏原グラントで実施した事業の紹介

西の湖の生物多様性を子どもたちに伝えるため、『西の湖を感じる展覧会』を実施しました。生態ピラミッドを模したモビールから、互いが繋がり合い存在する生物の世界を直感的に学びます。西の湖あそび隊は展覧会や自然観察など『感動のある体験』こそが子どもの自然への興味を育むと考え活動しています。

環境や地域への貢献

小学校での地域学習や西の湖学習へのスムーズな導入となるよう、年齢に合わせた学びを提供しました。また、『蛇砂川をすくえ!』と題し他団体と協力し、40人で100kg超えのゴミを拾うなど、年3回のゴミ拾いを実施しました。

助成金が活きたと思う点

コロナ禍での展覧会開催や、夏のゴミ拾いを安全で確実に実行することができました。また、自然観察会のための双眼鏡を揃えられたことで、環境学習をコンテンツ化する目標に近づくことができました。

ニホンミツバチの蜜源の谷づくり事業 沖島里山保全の会

活動場所 滋賀県近江八幡市沖島町
所在地 滋賀県近江八幡市沖島町
連絡先 滋賀県近江八幡市沖島町 274
活動分野 ●水・水辺、●森・林・里地、●参加募集



夏原グラントで実施した事業の紹介

私たちの活動場所である湯屋ヶ谷(ヤンタン)は、石垣の積まれた珍しい棚田跡です。琵琶湖を望む景観の良い入江のある谷でありながら、近年は笹竹とクスのつたが生い茂り、荒れて藪化し、イノシシの潜む谷となっていました。私たちは、川筋、水路跡を丁寧に手入れしながら笹藪の整備と耕作地跡に菜の花やコスモスを育てる再開発を進めています。

環境や地域への貢献

事業に掲げている「ニホンミツバチ」は、地域の動植物と恵みを分かち合い、共生しながら生活しています。植物という資源をムダなく有効に活用すると同時に、花粉媒介によってその資源の再生産もするニホンミツバチの営みは、持続可能な里山、里うみづくりの手本となると考えています。ニホンミツバチが営巣できる多様性のある里山再生を目指しています。

助成金が活きたと思う点

助成金を活用して、伐採木を粉砕するためにウッドチップパーを購入しました。また、日差しや急な雨を避けるためにタープを購入し、少しずつ自分達の拠点作りをしています。

琵琶湖水鳥観察会とむべなるかな里山探索会 チームむべなるかな

活動場所 滋賀県近江八幡市島町
王の浜山、権現山および沖島町宮ヶ浜
所在地 滋賀県近江八幡市島町 1671
連絡先 〒523-0087 滋賀県近江八幡市北津田町 370-50
TEL 0748-36-7301



活動分野 ●水・水辺、●森・林・里地、●参加募集



夏原グラントで実施した事業の紹介

琵琶湖の水草観察や水鳥観察、地元の里山散策を活動の三本柱として実施しています。水草観察は7月中旬から8月末までの土日に、水鳥観察会は12月上旬から3月上旬の土日に実施しました。2021年度は大雪とコロナ禍のために中止する日もありました。里山散策は一部険しいところもあり、自然環境の変化に富むルートで幅広い世代が楽しめます。

環境や地域への貢献

琵琶湖は大きいだけでなく動植物も多く、水草の固有種もあり、その説明では琵琶湖の健全な環境にも触れます。水鳥の飛来は、種類も数も毎年変化していて、自然環境との関わりがあるようです。里山散策では、麓からは見えない樹木や草花やアップダウンの山道など表情豊かなところに癒されます。価値ある場所であるとの意識が芽生えてきます。

助成金が活きたと思う点

観察会などの活動で、メンバーの話だけの説明では、興味・関心を持って理解してもらうには限界があります。資料や観察ツールは効果を高めることができ、メンバーも充実感を味わえました。安全で安心できる活動のための事前整備作業は必要で、そのための道具を充実させて作業が捗りました。

大学生の熱意で琵琶湖や鴨川を侵略的外来生物から守ろう 特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会

活動場所 滋賀県守山市・近江八幡市、京都市
所在地 東京都世田谷区宮坂 1-34-4 ザ・アゼリアハウス B-102、大阪府高槻市真上町 1-1-18 Insist21-3B
連絡先 大阪府高槻市真上町 1-1-18 Insist21-3B
TEL 072-601-5109

活動分野 ●水・水辺、●植物、●参加募集



夏原グラントで実施した事業の紹介

本助成金を活用し、琵琶湖や京都府で繁殖して問題となっている特定外来生物オオバナミズキンバイの除去活動を行いました。2013年の琵琶湖南部での大繁殖と同じ状況にしないための早期発見・早期除去とオオバナミズキンバイの認知度向上の啓発に力を入れました。

環境や地域への貢献

オオバナミズキンバイは大繁殖すると、琵琶湖の生態系や漁業などに大きな悪影響を与えます。今回の活動では、特に近江八幡市で新たに発見された小さな群落を、早期除去することができました。近江八幡市から琵琶湖全域へのオオバナミズキンバイの拡散や琵琶湖の生態系に悪影響が出る前に対処することができました。

助成金が活きたと思う点

オオバナミズキンバイは繁殖力の強い水生植物で、たった数ヶ月で大繁殖します。また、根や茎を少しでも取りこぼすとすぐに再繁殖するため、取りこぼさないための作業計画も必要です。助成金の利用で、事前の下見や関係者との打ち合わせを積極的に行うことができ、優先順位の高い琵琶湖北部での除去活動を円滑に実施することができました。

芦浦観音寺竹林整備プロジェクト 特定非営利活動法人 レイカディアえにしの会

活動場所 滋賀県草津市芦浦町 445 芦浦観音寺
所在地 滋賀県草津市 7丁目 8-138
県立長寿社会福祉センター内
連絡先 滋賀県草津市 7丁目 8-138
県立長寿社会福祉センター内
事務局長 野川篤美 090-96798-9819

活動分野 ●森・林・里地



夏原グラントで実施した事業の紹介

草津市にある日本遺産に指定された芦浦観音寺の竹・樹木・雑草を史跡復興計画に沿って伐採する箇所（整地工事、通路確保）の整備作業を行っています。残す箇所も倒壊の危険性のある竹や樹木も伐採しています。そのおかげで 2022 年度は機材を入れての整地作業ができることになりました。

環境や地域への貢献

竹林整備により史跡建造物などへの倒壊、破損の防止、害虫発生削減、境内外への竹の倒壊防止ができています。

助成金が活きたと思う点

以前は刈払い機や鋸・剪定鋏など個人の持ち物で作業していて、器具のない人もいました。助成金のおかげで、必要機器類を購入することができて参加者全員に行きわたり、参加者も増えたことも相まって作業効率がアップしました。今後は、土塁の上と下の平地を整備することで、作業通路と散策路を確保する作業と竹林を残す箇所の竹密集を防ぐ作業を進めることとなります。

湖南市産バイオマス燃料製造プロジェクト こにゃん木の駅プロジェクト準備委員会

活動場所 滋賀県湖南市
所在地 滋賀県栗東市小野 1007-3
連絡先 滋賀県栗東市小野 1007-3 ベストハウスネクスト内
活動分野 ●森・林・里地、●エネルギー・エコ、●参加募集



夏原グラントで実施した事業の紹介

湖南市産バイオマス燃料製造に向けて、森林組合や湖南市と連携し、原木の搬入、地域との連携、販路開拓として薪の管理方法など実証実験を行いました。

環境や地域への貢献

林地残材を買い取ることで今まで外部からの収入がなかった地元森林組合に意識の変化が見受けられ、山の整備に入る時には積極的に丸太の搬入を行われるようになりました。湖南市との連携では、地元温泉施設へのバイオマス燃料供給について意見を述べ、先進的な取り組みを行っている地域への視察、また大学生による林業体験を受け入れ、より一層密に連携できるようになりました。人材不足についても、新たに女性を含め 2 名メンバーが増えて、活動もにぎやかになってまいりました。

助成金が活きたと思う点

初期投資が必要な消耗品が充実し大変助かりました。木質バイオマス燃料づくりには、大変な時間と労力が必要となります。特に、消耗品であるソーチェーンの購入、乾燥に必要な薪棚の整備等道具が充実してきて、丸太はあるけど薪づくりができない状態が改善されて、2022 年 5 月から月に一度薪割作業を行います。

ミツバチ花いっぱいプロジェクト オランダ堰堤および周辺の環境を守る会

活動場所 滋賀県大津市上田上桐生地先 近江湖南アルプス
オランダ堰堤および副堰堤周辺
所在地 滋賀県大津市桐生一丁目
連絡先 〒520-2111 滋賀県大津市桐生 1-4-18
TEL 090-6057-5228
活動分野 ●水・水辺、●森・林・里地、●参加募集

夏原グラントで実施した事業の紹介

歴史的土木遺産として認定されている近江湖南アルプスのオランダ堰堤および副堰堤付近は、手軽に水辺に親しめる憩いの親水区域になっています。近隣からの来場者も多いです。我々は、環境清掃と河川区域の雑木・倒木の撤去、川ざらい事業を行っています。2021年度からは、より一層親しんでいただけるよう、花木類を植樹し、ミツバチを生育することに取り組みました。

環境や地域への貢献

環境清掃を行うことにより、来場された皆様から「きれいになったね」とのありがたいお言葉をいただきました。さらには、清掃作業に新たに参加される方も増えてきました。新たな地域の交流の場が生まれ、仲間が増えていることも成果です。

助成金が活きたと思う点

助成金は、花木類の購入、シカ等野獣対策の防除ネット等の購入に使用させていただきました。また、花木植付けの講習会およびミツバチの生態・生育講習会を実施することもできました。



山を守る ごみ拾い調査とその解決法を探る TANAKAMI こども環境クラブ

活動場所 滋賀県大津市里 田上山・天神川
所在地 滋賀県大津市里 5-5-8
活動分野 ●子ども、●水・水辺、●動物



夏原グラントで実施した事業の紹介

田上山に流れる天神川は、とてもきれいな水が流れる川で、キャンプや川遊びに適したところですが、バーベキューをした後やキャンプをした後の川周辺の汚れは甚だしく、そこで私たちは、川の掃除を始めました。

環境や地域への貢献

一生懸命ゴミ拾いをする事ができました。特にゴールデンウィークやお盆の長期の休日の時はゴミが多く、それら少しかもしれないが、ゴミ拾いができたことは、地域や自然環境に貢献できたと思っています。また、子どもたちの中では、ゴミを拾うことによってやり遂げたという達成感が生まれ、環境に対する考え方やポイ捨て禁止などの道徳的な心が育成できたのではないかと思います。

助成金が活きたと思う点

今回、この夏原グラントの助成をいただき、若い世代である高校生・大学生が中心になって活動を行いました。活発に活動を行うことができたと思います。これもひとえに夏原グラントの助成のおかげだと感謝申し上げます。



下阪本クリーン作戦&シジミ放流 下阪本子どもコミュニティ

活動場所 滋賀県大津市下阪本新唐橋公園・坂本城址公園・臨水公園・四ツ谷川河口
所在地 滋賀県大津市下阪本六丁目 38-26
大津市立日吉中学校内
連絡先 事務局長 真嶋龍道 090-8448-7343
活動分野 ●子ども、●水・水辺、●普及・啓発

夏原グラントで実施した事業の紹介

- ・坂本城址公園にて「花植活動」を2回実施
- ・坂本城址公園クリーン作戦を2回実施
- ・下阪本クリーン作戦を実施 (約650人参加)
- ・漁船マンガンにてヘドロ・水草除去

環境や地域への貢献

漁船マンガンにて、8年間毎年2・3回ヘドロや大カナダ藻の除去を実施。よどんでいた湖面が蘇ってきました。ヘドロの悪臭に悩まされることがなくなり、近隣の住民に感謝されています。

「下阪本クリーン作戦」には650名ほどの地域の皆さんが参加してくれました。小・中学生や地域の役員だけでなく、小さい子どもからお年寄りの方まで幅広い年齢層が同じ思いで活動している姿。小・中学生が中心となって、司会やイベント(環境宣言・シジミ放流)において活躍している姿。どれも下阪本の宝です。このように、理想の地域活動が開発できたと思っています。

助成金が活きたと思う点

助成金のお陰で、「下阪本の浜でシジミが採れ、泳げる」ような環境づくり。私たちの活動の原点、今年も子どもの純粋な思いに寄り添えたのではと思っています。



クリーンハイク
比良山系の清掃登山及び飲み水水質調査と放射線測定 比良雪稜会

活動場所 滋賀県大津市比良山系南部
 所在地 滋賀県大津市
 連絡先 〒520-0106 滋賀県大津市唐崎1丁目23-20
 活動分野 ●水・水辺、●森・林・里地、●参加募集

夏原グラントで実施した事業の紹介

6月6日(日)に比良山系の清掃登山2コースを公開山行として実施しました。①下坂下～打見山コースの参加人数は、会員12一般8合計20人で回収ごみ量は7.8kgでした。②志賀駅～打見山コースは、会員14一般11合計25人、回収ごみ量は43.6kgでした。

10月31日(日)に比良山系の飲み水水質調査及び放射線測定山行を実施しました。坊村コースは、参加者8名で3カ所採水し、八雲ヶ原コースは、5名で3カ所採水し、11ヶ所で放射線測定をしました。結果は、水質が八雲ヶ原のみ不合格で、放射線測定は全箇所自然放射線量の値内でした。

環境や地域への貢献

清掃登山では、今年も大量のごみを拾い登山道がきれいになりました。参加した人だけでなく、活動を見た他の登山者にも環境保全の意識が波及したと思われます。飲み水調査や放射線測定では、安全度が確認されました。長い期間で数値の推移を見て環境の変化の有無を見守っていく必要があると考えます。

助成金が活きたと思う点

助成を受けることによって会員各自の金銭的負担が減り、今後も続けていく意欲ができました。



くつきの森の炭窯を活用した炭焼き人材育成と炭原木のドングリの森育成事業 特定非営利活動法人 コミュニティねっとわーく高島

活動場所 滋賀県高島市
 所在地 〒520-1622 滋賀県高島市今津町中沼1-4-1 今津東コミュニティセンター

連絡先 TEL 0740-20-5758
 webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp
 活動分野 ●森・林・里地

夏原グラントで実施した事業の紹介

持続可能な森林資源の有効活用を図る手法として炭焼きに注目し、森林公園くつきの森で、実際に炭を焼く炭焼き体験会や、他地域の炭焼きグループとの交流を図る炭焼き交流会、また、炭の原木となる広葉樹の森の再生を願い、種まきと植樹を行うイベントを開催しました。

環境や地域への貢献

炭焼きは歴史的に各地域ごとに脈々と受け継がれてきましたが、地域住民の高齢化と若年層の人口流出により存続が危惧されています。地域の枠を越え炭焼きグループが交流する機会を作ることで、炭焼き文化を広域的な視点で見つめる契機となりました。また、炭焼きは森林資源の持続的な活用のために有効な伝統技術であり、その維持と継承のきっかけを作ることができました。

助成金が活きたと思う点

夏原グラントの助成金で、新型コロナウイルス感染症による厳しい社会状況の下、円滑に事業を進めることができました。また、市民環境講座や団体交流会といった機会を通じて、他地域で活躍されている市民活動団体の皆さんと交流や意見交換ができたのは大きな励みとなりました。今後もこうしたつながりを大切に活動を継続していきたいです。



小さな谷の小さな暮らし —自然とつながり生きる力を育むワークショップ 志賀郷ゴキゲン化計画

活動場所 京都府綾部市志賀郷町藤谷
 所在地 京都府綾部市志賀郷町藤谷16-2
 連絡先 京都府綾部市志賀郷町藤谷16-2
 T&F 0773-21-2069、090-5670-9820
 活動分野 ●子ども、●森・林・里地、●普及・啓発

夏原グラントで実施した事業の紹介

当事業は、里山に囲まれた水源の小さな谷で、地元と都会の家族が共に、田畑を中心に自然と共存する“暮らし仕事”を一年を通して体験する活動です。自然を学ぶ楽しさ、暮らし仕事の充足感、共にある家族、仲間との共感など含め、自然に包まれて暮らす魅力を感じてもらえれば、と思っています。

環境や地域への貢献

小さな谷は作業効率が悪く、どんどん荒廃化が進んでいますが、実は暮らし仕事のステージとしてはとても魅力にあふれた場所です。荒れた農地を楽しんで利用し、保全に関わり、楽しい声があふれる。都会の家族も地元の子どもの、そんな魅力を感じて将来の暮らしを考えてくれればいいな、と願っています。

助成金が活きたと思う点

参加者にそんな魅力を実感してもらうには、やはり日数と手間がかかります。子育て家族に参加してもらうために、宿泊費の補助等で助成金を活用させていただき、かなりハードルを下げられ、同時に行政等に働きかける実績も積むことができ、大いに助かっています。

